

第 67 回鳥取県保育推進研究大会

開催要項

「こどもまんなか社会といま、こどもの健やかな育ちのためにできること」

1. 趣 旨

令和5年度は「こども基本法」に基づく「こども大綱」が策定されるとともに「こども家庭庁」が創設されました。これら国の子ども政策の変革は、保育所・認定こども園等も機能の充実と役割がより拡大し、求められてくることとなりました。そして3年間にわたるコロナ禍の中で、我々が携わる「保育・教育」「子育て支援」は新型コロナウイルス感染症が長期化しながらも、社会や経済・生活様式まで変容された中でも社会機能を担うまさに重要なインフラであることがあらためて認識、確認されることとなりました。

一方で少子高齢化と人口減少は、予想を超えて急激に進み、この状況は国や社会の存立基盤を揺るがし、喫緊の重要課題となっています。急激な少子化は全国的に保育所等を利用する児童の減少により、経営・運営が困難な施設が多数出現しています。鳥取県でも人口減少が進んでおり、「人口減少地域において教育・保育の場が確保され、社会資源としての役割をいかに担っていくか」を一つの課題とする必要があります。

本会はそのような社会環境の中で、人格形成にとって最も重要な時期である乳幼児期の子どもたちにかかわる保育者として、子どもの安心・安全を守ることはもとより、「保育・教育」の「専門性」と「質」の一層の充実を図るための取り組みが重要となっています。

本大会は4年ぶりの参集形式で実施し、保育の社会的役割・意義を認識するとともに保育実践の一層の向上をめざすことを目的に開催いたします。

2. 主 催 鳥取県子ども家庭育み協会

3. 後 援 (予定) 鳥取県、倉吉市、鳥取県教育委員会、鳥取県社会福祉協議会

4. 期 日 令和6年1月14日(日)

5. 会 場 県立倉吉未来中心

倉吉市駄経寺町212-5 TEL 0858-23-5390

6. 対 象 者 鳥取県内保育所(園)・認定こども園職員、幼稚園教職員、養護関係、児童福祉関係者
約300名

7. 日 程

- 12:30～ 受 付
- 13:00～13:15 開会式（主催者挨拶、表彰式）
- 13:15～14:45 講 演
- 14:45～15:00 休憩・移動
- 15:00～16:30 分科会
- 16:30～ 閉 会

講 演

「こどもまんなか社会の実現に向けて

～笑顔あふれる新たな時代の保育・教育の創造～

講師：鶴見大学短期大学部保育科 教授 **天野 珠路** 氏

第1分科会

“こどもまんなか社会の実現”をコンセプトに、子どもの最善の利益を第一に考え、子どもの視点等に立った政策立案、誰一人取り残さない支援等の基本理念を掲げ、令和5年4月に「こども家庭庁」が創設されました。子どもを主体に、保護者、保育者など子どもを取り巻く様々な者にとっての新たな時代の幕開けとして期待せざるを得ません。また、鳥取県は、「子育て王国とっとり条例」に基づき、全国に先駆けて様々な施策を展開し、まさしく子どもを中心とした取り組みを行なっていることは言うまでもありません。

しかし、受け皿としての保育・教育の場に求められるものは、これまで以上に大きくなる一方、人材確保の困難など保育現場での課題は解消されていません。

全ての子どもの育ちを保障するため、新たな時代の変化に応えていかなければならない私たち保育・教育の場に携わる者に求められるものは何なのかなどを考えていきたいと思えます。

「こどもまんなか社会の実現に向けて

～これからの保育・教育の場に求められるもの～」

講師：鶴見大学短期大学部保育科 教授 **天野 珠路** 氏

第2分科会

乳幼児期は食習慣の土台となる時期でもあることから、偏食がちな子どもの食育に悩んでいる方も多いと思います。

本分科会では、給食にみられる発達段階と感覚統合のつながりについて学び、子どもたちの成長を育むことを目的として開催いたします。

「食事における基礎感覚の大切さ ～感覚統合の視点から～」

講師：鳥取県立米子養護学校教育支援部教育担当

教諭・自立活動エキスパート **山内 章平** 氏

第3分科会

乳幼児期は、子どもが生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期です。一人一人の子どもがどのように守られ、育てられ、子ども時代にふさわしい経験を積むかは、その後の成長、発達に大きく関わっているとされています。そのため保育者は、常に自らの保育を振り返り、子どもへの理解を深め、保護者との信頼関係を築いていくことが求められています。

子ども理解を深めるため、子どもの興味・関心がどこに向いているのか、どのような経験をし、何が育ってきているのか等、子どもの育ちや内面を捉える視点を養っていく必要があります。また、次のよりよい保育へ繋げていくため、適切な自己評価を行っていくことも大切だと思います。保育の質の向上をめざし、どのような視点で子どもを見取るのか、自分の保育を振り返っていくのか学んでいければと考えています。

「子ども理解と保育 ～今何が育ちつつあるのか～」

講師：大阪総合保育大学 学長 **大方 美香** 氏

8. 参加申し込みについて

参加申し込みフォーム (Google フォーム) からお申し込みください。分科会のご希望は、第2希望まで入力をお願いいたします。会場の都合上、ご希望に沿えない場合がありますことをご承知ください。

お申し込み後、ご登録のメールアドレスにお申し込み内容の確認メールが届くよう設定しておりますが、万一届かない場合は、入力されたメールアドレスの間違いなどの可能性があります。数時間経っても確認メールが届かない場合には、再度お申し込みをいただくか、下記事務局までご連絡をお願いいたします。

<https://forms.gle/Tv7T5zcDevsALXm26>

【申込期限】令和5年12月5日(火)



9. 託児について (事前申し込み必要)

託児をご希望される場合は、参加申し込みフォームの通信欄からお申し込みください。

託児料は無料ですが、お子さまの着替え、おやつ等は各自でご準備をお願いいたします。

10. 参加費

(1) 参加費 無料

(2) その他 参加にかかる交通費、昼食代等は、各自ご負担ください。

11. 個人情報の取り扱い

申し込みフォームに入力された個人情報は、本事業実施の目的にのみ利用いたします。

12. お問い合わせ・お申し込み先

鳥取県子ども家庭育み協会 事務局

〒689-0201 鳥取市伏野 1729-5

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会 福祉振興部内

TEL 0857-59-6344 / FAX 0857-59-6341

E-mail torihagu21@tottori-wel.or.jp